

◇池口岳（200名山）・熊伏山（300名山）

日時：8月10日（夜発）～8月13日（盆休み山行）

参加：嶋原（L）、上ノ原、佐々木（記）

8/10（水）

PM9時、新大阪 嶋原車で出発。名神・中央高速で長野へ、152号線で翌1時20分「遠山郷・かぐらの湯・道の駅」着し、邪魔にならないようテントで仮眠。

8/11（木）

朝5時半起床し、早めの出発の準備をしようとした。アレ？どこに行ったか私の登山靴と嶋原さんの外履きが無い。動物がくわえていったか？探し回ったが無い！！悪意の人間の仕業か？真夜中、車のヘッドライトを灯けてテントを張って迷惑をかけたか？残念ながらどうしようもないので、時間を置いて飯田の町へ靴を買いに行く事にする。こんな事もあるのかなと思いつつ、テント内に靴を入れなかった事を反省！。やっと靴をゲットして（10時）、ようやく池口岳登山口駐車場着（7～8台駐車可）。昼食後、出発（12：08）山の神（12：56）黒薙（クロナギ13：48）大きな山崩れのザラナギを通過、ザラナギ平のテント場（1971m）着（16：40）。今日は、朝からのトラブルで遅くなりました。途中、単独ハイカー（5～6名）と出会うが、光岳からの縦走者もいた。本コース往復9～10時間を要する、標高差1300mの水場の無いコースは厳しい。上ノ原さんには、申し訳ありませんでしたが、二人、一杯飲んで就寝。

8/12（金）

朝4時起床、朝食後テントはそのままにして出発（5：40）。目標は、池口岳北峰・南峰である。ザラナギ平のテント場から、倒木帯や岩場を経てさらに進むと、加加森山から光岳への縦走路分岐、西尾根分岐となる。南アルプスのハイマツ南限地と言われる斜面道はキツイ。やがてガレ場の平地となり、ホット一息。山頂はもうすぐだ。北峰（2392m、7：45）で休憩。あまり展望は無いが、池口岳最高峰である。三角点のある南峰へは、笹道を急降下し、やっとの事で南峰着（2378m、8：45）。資料によると少し先には、ビューポイントがあったようだが、この時は知らない。とにかく登れた事に感謝する！ピストン下山は、北峰（9：30）→テント撤収（11：35→12：00）→駐車場着（15：30）。明日の熊代山下のテント場に向かって出発（16：00）青崩峠駐車場にてテント泊（16：40）。



クロナギから中央が池口岳



ザラナギ下のテント場



池口岳山頂

8/13（土）

朝5時起床、ゆっくり朝食後発（6：30）。青崩峠は、静岡～長野への秋葉街道、「塩の道」で武田信玄の軍勢がこの峠を越えたとも云われています。また製糸工場で働くための少女たちが、ここを通ったとされる歴史ある峠であるそう。石畳の道を伝い峠へ向かう。青崩の頭（7：

45、1082m) - 熊伏山 (9:05、1653m) - 青崩の頭 (10:15) - 青崩峠駐車場 (11:05)。帰阪11:20 無事、新大阪で解散。鳴原さん、車運転本当にありがとうございました。



塩の道案内板



青崩峠



熊伏山山頂